

牛久：学校周辺に見る自然

第11号 みずべ公園，牛久自然観察の森

2015年11月8日発行

< 自然のかくし絵 ～ いくつ見つけられるかな？ >

こんにちは。牛久市理科支援員の宮内です。第1～10号で、ひたち野うしく小3年生との「秋のみずべ公園・動物のすみかをしらべよう」シリーズは終わりました。しばらく観察授業の支援依頼はなさそうなので、私が時々市内各地を歩いた中で見つけた生きものたちを、少しずつ紹介していこうと思います。

今回は、最近観察した中でこれも「自然のかくし絵」と言えるかな？と思えた生きものたちです。いくつ見つけられるかな？ 答は次号で…。



第1問. 上の写真の木は、ドングリのなるコナラです。この中のどこかに、ハラビロカマキリの「卵のう」がかくれています。探してみましょう。

話はそれますが、私にとってコナラはたいへん思い出深い木で、子どものころ、シイの実(スダジイ)を時々食べるのがあって、これは生でも食べられますが、フライパンでいって食べると香ばしくてとてもおいしいものでした。それでドングリならどれも食べられるものだと勝手に思いこんでコナラの実をかじった時に、口いっぱいにしぶ味が広がり、それがなかなかとれなくて大変な思いをしました。後にそれがコナラのドングリだと知りました。

時は過ぎ、大学の卒業研究のテーマにしたのが、北関東に広がるコナラを中心とした林の植生生態学でした。…今でも思い出したように一口かじっては、「うん、やっぱり渋いぞ。」と確認し、「いろいろあるが、負けないぞ！」と自分を元気づけています。変なやつ？



第2問. イヌツゲの植えこみしたくきと下草さかいとの境こんちゆうに、ある昆虫がかくれています。たぶん、動かなかつたら私に見つかることはなかったでしょう。探してみましよう。



第3問. 最後は、「自然のかくし絵」で有名なナナフシゆうめいの仲間なかまでトビナナフシ。答は1匹びきとはかぎりませんよ。探してみましよう。ナナフシは木の枝えだに似せているといわれますが、木の葉そっくりのなかまコノハムシしんの仲間も、ナナフシの親せきなのだそうです。【理科支援員：宮内】